

第6回議会改革検討協議会案件内容

1/28開催の第5回議会改革検討協議会を受け、市長、教育長、泉大津高校校長と協議。

(1) 議会事務局の位置づけについて

1/31議長、副議長、委員長、副委員長が市長室にて、市長、副市長と懇談。議会事務局の独立性確保及び災害時の議会としての独立した対応のため、市長部局の各種計画に組み込まれている議会事務局職員の役割を解除するよう要請。了とする旨回答あり。

(2) 議会BCPについて

3/27新年度から災害時の市長部局職員配置から議会事務局職員を対象外とする案が示されている。

※ 今後の課題として、議会事務局独自の災害時での行動マニュアルや災害時の対応要領の細部の検討が必要。

(3) 小中学生子ども議会について

2/13委員長、副委員長、堀口議員で教育長、幹部職員と懇談。B班で検討された趣旨、スケジュール等を説明。教育長より前向きな返事あり。詰めた議論が必要との見解をいただく。

その後、教育長より詳細項目について文書にて質問があり、3/26に委員各位にご確認いただいた議会としての「子ども議会」実施要項（素案）を4/3教育長へ回答したところ。

※ 新型コロナウイルス対策で、学校休校が延期され、教育現場の混乱と、カリキュラムの再調整等、夏休みを返上しての取り組みも考えられる。教育委員会の対応次第では、素案でのスケジュールが可能かどうか、調整が必要と考えられる。

(4) 高校生主権者教育について

2/5委員長、副委員長、副議長で泉大津高校山田校長、林主席と懇談。泉大津高校における主権者教育を依頼。2年生に泉大津市選挙管理委員会が模

擬選挙を実施してもらった。体験型の内容で好評であったとのこと。スケジュール上は3年生の2学期以降の秋が組みやすいとのこと。市議会としては先に小中学生の子ども議会を実施する予定なので、その後と考えている。今後情報交換する旨確認する。

3/24 委員長、副委員長で山田校長、林主席と懇談。山田校長より、好事例として新潟市議会の取り組みを希望。シナリオを決めてロールプレイング方式で行う模擬市議会を希望。

実施場所は泉大津高校内でも泉大津市議会でもどちらでも良いとのことだが、対象人数から考えると、出前で高校の講堂で行う方が良いのではと考える。

スケジュール的には、令和2年度に開催の小中学生の子ども議会を2年生20名程度で見学し、令和3年度での高校生議会開催としてはどうかとのこと。
※ 令和2年度での小中学生の子ども議会の開催次第でずれ込む可能性あり。